

総合開講式・開講記念講演 会場：秋田県生涯学習センター 講堂（3階）

5/25[±]

受付	12:30~13:00
総合開講式	13:00~13:30
記念講演	13:30~15:00

記念講演 テーマ 「気象から秋田の暮らしを考えてみる
～お天気お兄さんたちの井戸端会議～」
(鼎談)

元日本気象協会 気象キャスター 気象予報士 渡辺博栄氏	(株)ウェザーマップ 気象キャスター 気象予報士 村木祐輔氏	前秋田地方気象台長 和田幸一郎氏
---	--	----------------------------



あきたスマートカレッジ 総合開講式・記念講演、大盛況！

去る5月25日（土）、「あきたスマートカレッジ」総合開講式、開講記念講演を行いました。300人ほどの申込をいただいたため、3階講堂は机を撤去し、椅子のみの設定にしました。会場が参加者やスタッフで一杯となった午後1時、熱気あふれる中、カレッジ副学長の鈴木修一生涯学習センター所長の挨拶で式は始まりました。今回の特徴は、聴覚障害の方への配慮として、挨拶内容のスクリーン投影と同時手話通訳を行ったことで、好評を得ました。続いて、県発行の生涯学習手帳を活用して学習を積み重ね



6名のマナビストと中山生涯学習課長（右端）

てきた6名のマナビストに県教育庁の中山恭幸生涯学習課長より奨励証と記念のバッジが贈られました。湯上市の佐藤存さんとかほ市の熊木昭夫さんにはゴールド・マナビスト（500単位修得）、秋田市の大橋初代さんにはシルバー・マナビスト（300単位修得）、美郷町の外山ミヨさん、坂本幸子さん、本間幸子さんにはブロンズ・マナビスト（100単位修得）の証が手交され、会場からはその努力を称え、大きな拍手が送られました。最後に、美郷町生涯学習奨励員会 中村裕子会長のピアノ伴奏により、会場全体で秋田県民歌を声高らかに歌って総合開講式は幕を閉じました。

式終了後は、開講記念講演「気象から秋田の暮らしを考えてみる～お天気お兄さんたちの井戸端会議～」を行いました。今回はカレッジ史上初となる鼎談（3人が向かい合って話をする）という形式で、講師には元日本気象協会気象キャスターで気象予報士の渡辺博栄氏、(株)ウェザーマップ気象キャスターで気象予報士の村木祐輔氏、前秋田地方気象台長で気象情報官の和田幸一郎氏のお三

方をお迎えしました。秋田出身もしくは秋田にゆかりのある講師陣は、テレビでもおなじみの方々ですよね。ファシリテーターは村木さんが務めました。冒頭、スクリーンに投影されたのは、「最近、のぎぐね!?’の文字。そうです。まずは、地球温暖化の話から鼎談は始まりました。それぞれ、現在の気象の特徴について思うところを話され、続いて自己紹介へと移っていきました。お三方の実にユニークな紹介に、会場からは何度も笑いの渦が巻き起こり、和やかなムードの中で話は進んでいきました。渡辺さんはNHKでの天気予報のお仕事のことから現在の秋田を中心にした暮らしぶりのこと、村木さんはNHKニュースこまちや趣味のマラソンのこと、和田さんは気象台のお仕事や趣味の音楽活動のことなどをユーモアたっぷりにお話しになりました。そして、本題である気象（予報）についての話へ。注意報の種類を確認したのち、話題は秋田の気象特性へと移っていきました。3人はいろいろなケースを例に、秋田だから起こっている気象の特徴を分かりやすく話され、話はいよいよ防災へ。間もなく避難勧告等のガイドラインが改定されること、実際には私たちはどう行動すべきかなどを話され、事態を楽観視し、災害を軽視することの怖さを強調されていました。参加者は、時折大きく頷きながら、真剣に3人のプロフェッショナルの話に耳を傾けていました。

